

琉球大学学術リポジトリ

多文化教育における「日本人性」の実証的研究

メタデータ	<p>言語:</p> <p>出版者: 野入直美</p> <p>公開日: 2009-03-03</p> <p>キーワード (Ja): 多文化教育, 日本人性, 在日朝鮮人教育, 朝鮮文化研究会, 日本人教師, 日系ブラジル人, ホワイトネス研究</p> <p>キーワード (En): Multicultural Education, Japaneseness, Education for Koreans in Japanese, Korean Culture Club, Japanese teacher, Nikkei Brazilian, Research of Whiteness</p> <p>作成者: 野入, 直美, 倉石, 一郎, 中島, 智子, 松尾, 知明, 山ノ内, 裕子, Noiri, Naomi, Kuraishi, Ichiro, Nakajima, Tomoko, Matuso, Tomoaki, Yamanouchi, Yuko</p> <p>メールアドレス:</p> <p>所属:</p>
URL	<p>http://hdl.handle.net/20.500.12000/9030</p>

多文化教育における「日本人性」の実証的研究

課題番号 16530333

平成16年度～18年度科学研究費補助金
基盤研究（C）（1）

研究成果報告書

平成19年3月

研究代表者 野入直美
(琉球大学法文学部助教授)

琉球大学附属図書館



0020074003000

<正誤表>

	誤	正
p. ii	山ノ内裕子（関西大学院大学文学部助教授）	山ノ内裕子（関西大学文学部助教授）
p.126 19)	在日朝鮮人総連合会 HP 参照	在日本朝鮮人総連合会 HP 参照
21)	学生会。	学生会。在日本朝鮮青年同盟の中で、日本の中学・高校に通う生徒の会。
22)	留学同。在日朝鮮人留学生同盟の略。	留学同。在日本朝鮮留学生同盟の略。

はしがき

本研究は、平成16年度～18年度科学研究費補助金基盤研究(C)(1)による共同研究「多文化教育における『日本人性』の実証的研究」の研究成果をまとめたものである。

この研究における問題意識は、この研究に先立つ共同研究「1970年代以降の在日韓国・朝鮮人教育研究と実践の体系的研究」(科学研究費補助金基盤研究(C)(2)平成13年度～15年度 研究代表者・中島智子)において育まれた。そこでは、1970年代以降の日本の学校における在日朝鮮人教育の特徴と課題を、教師による実践報告のテキスト分析という手法によって明らかにした。

その分析からは、在日朝鮮人教育の実践において、日本人生徒が、在日朝鮮人生徒を「埋もれさせる」マジョリティとして、あるいは「支える」存在としてひとかたまりに描かれたり、在日外国人生徒のとりくみを見守っているというように、後景に描かれたりする傾向があることが見えてきた。しかし日本人の生徒たちは、実際にはさまざまな関係の中で貴重な学びをしている。

本研究は、その学びの形に、生徒たちの体験や意味づけの文脈から迫ろうとするものである。また、先行研究が、724本の教育実践報告を読み込み、どちらかといえば量的な手法で在日朝鮮人教育の変遷を俯瞰するものであったのに対し、本研究は、在日朝鮮人教育や多文化に関わる学びを体験した卒業生を対象とするインタビュー調査によって、生徒たちが体験した学びのリアリティについての、インテンシブな深みのある事例研究を試みている。

本書の第1部には、その事例研究の成果を収録した。第1章と第2章は、野入が主に担当した二つの対象グループであるV高校の人権フォーラムと全国在日外国人生徒交流会について、学びの場の文化、相互性、生徒たちが体験した関係性についての分析を記している。第3章は、中島と野入が共同で行ってきた兵庫県立神戸甲北高校の朝鮮文化研究会の卒業生を対象とするインタビュー調査の成果である。この対象グループについては、同校の朝鮮文化研究会の顧問である藤川正夫先生に、卒業生の紹介などのさまざまなご協力をいただいた。そのご縁で、神戸甲北高校による総合学科10周年記念誌『挑戦する総合学科—神戸甲北高校10年の実践—』の発刊にあたって、中島と野入は、調査で得られた知見に基づく外部評価の執筆依頼を頂いた。第3章は、10周年記念誌に載せられた我々の原稿を、神戸甲北高校のご許可を頂いた上で収録したものである。

本書の第2部では、研究対象を広げ、さまざまな角度から、多文化教育における日本人性に迫ろうと試みている。ここには、日本人が少数派である学びの場における日本人教師の経験をインタビュー調査によってとらえた中島論文、ブラジルにおける日

本語教育を題材とした山ノ内論文、そしてアメリカのホワイトネス研究から日本人性の研究に有益な示唆を汲みとろうとする松尾論文が含まれる。これらの章には、多文化教育における日本人性が、どのような着眼で、いかなる方法で研究されうるのかという、研究方法のレベルにおける議論につながる知見や考察が盛り込まれている。

そして、本書の第3部には、在日朝鮮人の「混血」／「ダブル」について、二人の在日朝鮮人の研究者が、それぞれにインタビュー調査に基づく事例研究を行った成果を収録している。朴論文は、自分自身が日本人の祖母を持つ「混血」の筆者によって書かれた論考であり、最終章の李論文と比較するとき、「混血」「ダブル」の捉え方において、鮮烈な対照性が見えてくる。なお、「ダブル」については、野入も第2章で若干の考察を行っている。複数の研究者が、インタビュー調査という手法を共有しながら各自で行った研究成果を、読み比べていただきたいと思う次第である。

最後になったが、本研究にご協力いただいた調査対象者の方々、我々の訪問を迎え入れ、資料の提供などでひとかたならぬご協力を下さった学校の関係者の方々、そして総合学科10周年記念誌に掲載された中島・野入の原稿の本報告書への収録を快くお許しいただいた兵庫県立神戸甲北高校に、心から御礼を申し上げる。

<研究組織>

研究代表者

野入直美（琉球大学法文学部助教授）

研究分担者

倉石一郎（東京外国語大学外国語学部助教授）

中島智子（プール学院大学国際文化学部教授）

松尾知明（国立教育政策研究所初等中等教育政策部主任研究官）

山ノ内裕子（関西学院大学文学部助教授）

研究協力者

朴秋香（大阪大学大学院文学研究科修士課程）

松波めぐみ（大阪大学大学院人間科学研究科博士課程）

李月順（京都精華大学・関西大学非常勤講師）

< 交付決定額 >

平成 16 年度 100 万円
平成 17 年度 90 万円
平成 18 年度 100 万円
合計 290 万円

< 研究成果 >

倉石一郎「脱構築から他者の語りなおしへ：「日本人性」の問いが異文化間教育・研究にもたらすもの」『異文化間教育』22号、p.57～67、2005年6月

倉石一郎「<なんじ>のいる異文化間教育学への足がかりー<語り直し>プロジェクトの射程ー」『異文化間教育』24号、p.2～11、2006年6月

中島智子「異文化間教育研究と『日本人性』」『異文化間教育』22号、p.2～14、2005年6月

中島智子・野入直美「『ちがひ』を触媒とした学びの文化ー朝文研卒業生のインタビュー調査から見えてきたものー」兵庫県立神戸甲北高等学校『挑戦する総合学科ー神戸甲北高校10年の実践ー』、p.77～93、2007年2月

野入直美「『見えない日本人』ー在日朝鮮人教育における「日本人生徒」の位相ー」『異文化間教育』22号、p.42～56、2005年6月

山ノ内裕子「日系人研究における『差異化』と『他者性』ーブラジル日系社会でのフィールドワークの経験からー」『異文化間教育』24号、p.27～40、2006年6月

< 口頭発表 >

中島智子・野入直美「高校の朝文研活動にみる日本人／外国人生徒の関係性と学び」異文化間教育学会第27回大会、関西大学（高槻キャンパス）、2006年6月3日、共同発表

山ノ内裕子「日系人研究における『差異化』と『他者性』ーブラジル日系社会の人類学的研究を通してー」学会特定課題研究「異文化間教育の語り直しー他者・境界・分節化」統括コーディネーター：中島智子、企画責任・司会：倉石一郎、異文化間教育学会第26回大会、明治大学（白金キャンパス）、2005年5月28日

目次

はしがき

第1部：日本人生徒と外国人生徒の相互性の中の学び

第1章 葛藤の中で闘いとられる〈学びなおし〉の文化

- －V 高校の人権学習における在日朝鮮人生徒と日本人生徒の関係性と学び－
野入直美 1

第2章 〈非日常の学び〉と〈日常の学び〉の結びつき

- －在日外国人生徒交流会における相互性と、学びを増幅する学校文化－
野入直美 17

第3章 「ちがい」を触媒とした学びの文化

- －朝文研卒業生のインタビュー調査から見てきたもの－
中島智子
野入直美 35

第2部：「日本人性」試論

第4章 民族学校の日本人教師が経験する〈日本人性〉

中島智子 61

第5章 ブラジルの日本語教育における「日本人性」をめぐる政治

- －「継承語としての日本語教育」から「外国語としての日本語教育」への移行をめぐる－

山ノ内裕子 81

第6章 アメリカ合衆国における多文化教育と「白人性」

- －「白人性」の脱構築へ向けて－

松尾知明 97

第3部：在日朝鮮人の「混血」／「ダブル」の考察

第7章 民族教育における「日本人」性の位置づけ

－「混血」者の名前を中心に－

朴 秋香 109

第8章 日本籍在日にみる複合的アイデンティティの模索

－日本籍在日朝鮮人のエスニシティー－

李 月順 128